

# 見たい 住みたい～ ち八幡づくり

2月26日に開会しました平成26年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「平成26年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介し、また、施政方針の全文は市ホームページ (<http://www.city.yawata.kyoto.jp>) に掲載しています。

## 安心して暮らせる安全で快適なまちづくり

台風、集中豪雨、地震などの自然災害が全国各地で発生しています。本市におきましても、平成24年8月の京都府南部豪雨、平成25年9月の台風18号と2年連続で浸水被害が発生し、大きな爪痕を残しました。

災害から市民の皆様の生命と財産を守り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めてまいります。

- 防犯カメラ設置事業(継続) 692万円
- 有都交流センター大規模改修工事実施設計委託(継続) 460万円
- 八幡市障害者通所施設耐震診断実施(新規) 250万円
- 南ヶ丘児童センター改修工事実施設計(新規)
- 母子健康センター耐震診断実施(新規)
- 大規模建築物等耐震化支援事業(新規) 530万円
- 雨水排水対策検討業務委託(八幡水泊、南山地区)(継続)
- 男山地域再生事業(だんだんテラス事業助成等)(拡充) 1,230万円



- 下水道浸水被害軽減対策事業(新規) 6億400万円
- 市営住宅建替事業(新規)
- 消防救助工作車更新、クレーン付き資機材搬送車導入(新規)
- 防災備蓄品充実、防災用資機材整備(拡充)
- 防災対策衛星インターネット、気象情報導入(新規) 330万円
- 地域防災計画改定(更新) 400万円
- 男山中学校大規模改修工事実施設計(新規) 1,700万円
- 山柴公民館大規模改修事業(新規) 1億2,800万円
- 八幡市民図書館大規模改修事業(新規) 3億5,910万円



## 人がつどい、活力あふれるまちづくり

元気で活力あふれるまちであり続けるためには、農業や商工観光の振興、にぎわいの創出が欠かせません。近年の高速道路網の整備による地の利を活かし、活力あるまちづくりを進めてまいります。

- 婚活サポート事業助成(新規) 10万円
- やわた流れ橋交流プラザ農産物直売所実施設計(新規) 70万円
- 橋本駅周辺拠点整備事業(継続) 5億2,800万円
- 二階堂川口線バイパス事業(継続) 5,220万円
- 科手土井線道路整備事業(新規) 5,000万円



国の経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を内容とする、いわゆるアベノミクスの効果もあって、実質GDPが4四半期連続でプラス成長となるなど、上向き傾向にあります。しかし、地域経済における景気回復の実感は、地域差もあり未だ十分でなく、また、本年4月からの消費税率引き上げに伴う景気の下振れリスクが懸念されます。今後、日本経済の底上げと好循環の実現を図り、持続的な経済成長による地域経済の活性化に期待しているところであります。

私は、市長就任以来、国の経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を内容とする、いわゆるアベノミクスの効果もあって、実質GDPが4四半期連続でプラス成長となるなど、上向き傾向にあります。しかし、地域経済における景気回復の実感は、地域差もあり未だ十分でなく、また、本年4月からの消費税率引き上げに伴う景気の下振れリスクが懸念されます。今後、日本経済の底上げと好循環の実現を図り、持続的な経済成長による地域経済の活性化に期待しているところであります。

## をあわせて



## かな自然を守り、循環型の社会づくりをめぐるまちづくり

は、京都府内で初めて環境宣言を行いました。今後もこの社会を目指し、環境基本に基づき取り組みを進めてまいります。

- 人権・交流センター太陽光備整備事業(新規) 3,020万円
- 生態系調査事業(新規) 550万円
- 猫避妊手術費助成(新規) 200万円
- あい訪問収集(新規)



### だれもが明るく元気に暮らせるまちづくり

市民の皆様地域で元気に暮らしていただくには、健康づくりを実践・継続できる仕組みづくりが大切です。そのため、新たに健康フェスタを開催するとともに、定期的な健康診査の受診、運動習慣など各自のライフスタイルに合った健康づくりを応援するため、健康マイレージ事業を実施することとしております。



- 国民健康保険料激変緩和措置(臨時特例繰出金)(継続) 6,000万円
- 人間ドック・脳ドック助成(拡充) 3,210万円
- 健康マイレージ事業(新規) 300万円
- 健康フェスタ開催(新規) 190万円
- 健康増進事業(新規) 70万円
- 介護支援サポーター事業(新規) 210万円



# ～来たい 見たい わがまち八幡



八幡市長 堀口文昭

景気の不振やリフレクが懸念されます。今後、日本経済の底上げと好循環の実現を図り、持続的な経済成長による地域経済の活性化に期待しているところであります。

私は、市長就任以来、市民協働を基本とし、また、京都府と力を合わせながら、第4次八幡市総合計画後期基本計画の実現に向けて取り組んでまいりました。平成26年度は、教育、活力、安心・安全、健康づくりを軸とし、これからのわがまち八幡づくりを進めていか

而して、老朽化対策をはじめとする防災・減災事業の促進、さらには人口減少に対応するための「子育て支援」「男山地域のまちづくり」などの多くの財政需要があります。こうした状況のなか、行財政改革に継続して取り組み、有利な財源となります。国の平成25年度の補正予算も活用した「13カ月予算」を編成し、重点施策であります健康づくりに関する取り組みや防災・減災に関する取り組みを進めることといたしました。

## 人権を大切に、みんなが力をあわせてまちづくりを進めるまちづくり

本市のコミュニティは、少子高齢化・人口減少時代を迎え、地縁的なつながりが希薄化し、厳しい状況にあります。地域コミュニティは市民自治の基礎であるとともに、災害発生時などの地域の安心・安全の確保には極めて重要なものです。市民の皆様一人ひとりが、人権を尊重することを基本に、人とつながり、助け合いのできる地域コミュニティの充実が必要と考えております。

- ホームページ管理運営経費(拡充) 261万円
- 自治連合会活動事業助成(継続) 200万円
- 本人通知管理システム導入(新規) 547万円



## 計画の実現に向けた取組や体制の強化

各種施策の基礎となります第4次八幡市総合計画後期基本計画が3年目を迎えます。総合計画検討懇談会でいただいた意見を踏まえた取り組みや成果指標の達成に向け、定期的に課題協議を実施し、適切に進行管理を

行ってまいります。

- 入札制度懇話会設置(新規)
- 第6次行財政検討審議会開催(継続)
- 社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修(新規) 1,200万円

## 次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくり



かけがえのない「今」を生き、八幡市の将来を担う子どもたちの健やかな成長は、家庭はもちろんのこと地域全体の願いです。様々な人が見守り、子どもたちの健やかな成長が、市民の皆様の喜びとなるように環境整備を進めてまいります。

また、文化、芸術、スポーツなどの活動を通じ、人と人との交流を育み、市民が八幡市を誇りに思える歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進めてまいります。

- 子ども・子育て支援総合推進事業(継続) 600万円
- くすのき保育園一時保育事業助成(拡充) 158万円
- 病児保育事業(新規) 1,370万円
- 八幡市・八幡浜市中学生交流事業(新規) 100万円



- 男山地区スタディサポート事業(新規) 2,800万円
- 国庫補助史跡保存整備事業(八角堂)(新規) 2,250万円
- 松花堂庭園美術館耐震診断実施(新規)



## 豊かな自然を守り進めるまちづくり

本市は、京都府内で初めて環境自治体宣言を行いました。今後循環型の社会を目指し、環境基本計画に基づき取り組みを進めてまいります。

- 八幡人権・交流センター太陽発電設備整備事業(新規) 3,020万円
- 自然生態系調査事業(新規) 550万円
- 犬・猫避妊手術費助成(新規) 200万円
- ふれあい訪問収集(新規)